

河野文昭プロデュース室内楽シリーズ Vol.11 カンマームジーク@アルティ

Kammer musik

— 室内楽の極み！ 弦楽五重奏の世界 VI —

2026年6月20日(土) 14:00開演(13:30開場) 会場：京都府立府民ホール“アルティ”

出演：クインテット WAM・キョウト

ヴァイオリン：玉井葉採
(ブラハの春国際コンクール 優勝)

ヴァイオリン：永峰高志
(国立音楽大学特任教授)

チェロ：河野文昭
(東京藝術大学名誉教授)

ヴィオラ：大野かおる
(ターティス国際コンクール 特別賞)

ヴィオラ：佐々木 亮
(NHK交響楽団 首席奏者)



弦楽五重奏という編成にこだわり、年に一度の演奏会を重ねてきた本シリーズも、今年で第6回を迎えます。四重奏とは異なる厚みと奥行き、そして5人だからこそ生まれる細やかな対話、その可能性を探り続けることが、私たちの変わらぬテーマです。

本公演では、まずバッハ《平均律クラヴィーア曲集》より2曲を選び、精緻な対位法の世界を弦楽五重奏で立体的に描き出します。続くヴォーン・ウィリアムス《幻想五重奏曲》では、叙情的な旋律が、5つの弦の重なる暖かな和声によっていつそう深みを増すでしょう。そして後半は、ブラームス《弦楽五重奏曲第1番》。内声の豊かな響きと、内から湧き上がる感情との交錯が魅力です。室内楽でありながら大きな広がりを感じさせるこの作品を、5人の緊密な対話で支えます。

弦楽五重奏のみで構成する演奏会は決して多くありません。しかしだからこそ、この編成が持つ魅力を掘り下げ、音楽の可能性を広げる意義があると考えます。6年の歩みの中で重ねてきた、5人の対話をぜひ会場でご体感ください。

河野文昭

*カンマームジーク (Kammermusik) とはドイツ語で「室内楽」のこと。

目

- 1 平均律クラヴィーア曲集 第1巻より
プレリュードとフーガ嬰ハ短調 BWV 849
プレリュードとフーガ変ロ短調 BWV 867
— J.S. バッハ
- 2 幻想五重奏曲 (1912年)
— R.ヴォーン・ウィリアムス
- 3 弦楽五重奏曲 第1番 へ長調 Op.88
— J.ブラームス

[入場料 (消費税別)] 全席自由

一般=4,000円 (当日4,500円)

学生=2,000円 (当日2,500円)

(アルティメイト会員一般=3,500円 / 学生=1,800円)

*未成年児童の入場はお断りします。

[お問合せ] otonowa (オトノワ) Tel: 075-252-8255 (平日10:00-15:00) <https://www.otonowa.co.jp/>

カンマームジーク@アルティ

—室内楽の極み！弦楽五重奏の世界 VI—

出演：クインテット WAM・キョウト

玉井菜採 (たまいなつみ)

桐朋学園大学在学中に、ブラハの春国際コンクールに優勝。東儀祐二、小國英樹、久保田良作、立田あづさ、和波孝福らの諸氏に師事。卒業後、アムステルダム・スウェーリンク音楽院でH.クレバース氏、ミュンヘン音楽大学マイスタークラスにてA.チュマチュニコ氏に師事。この間、バッハ国際コンクール最高位をはじめ、エリザベート王妃国際コンクール、シベリウス国際コンクールなど、数々のコンクールに優勝、入賞している。1999年平和堂財団芸術奨励賞、平成14年度文化庁芸術祭新人賞、平成20年度には京都府文化賞奨励賞を受賞。ソリストとして、室内楽奏者として活発な演奏活動を展開している。紀尾井ホール室内管弦楽団コンサートマスター。アンサンブル of トウキョウ ソロヴァイオリニスト。びわ湖ミュージックハーベスト音楽監督。東京藝術大学音楽学部教授。使用楽器は東京藝術大学所蔵のA.ストラディヴァリウス“Ex-Park” (1717)。

永峰高志 (ながみね たかし)

東京藝術大学卒業後NHK交響楽団に入団。第2ヴァイオリン首席奏者として活躍する。在団中、同団への功績が認められ第32回有馬賞を授与される。2015年同団を退団する。現在ソリスト、室内楽奏者として活躍している。ゲストコンサートマスターとしても新日本フィルなどのオーケストラに出演し好評を得ている。国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にも当たる。その指導はオーケストラ奏法にまで及び、門下からミュンヘンフィル、NHK交響楽団、東京都交響楽団をはじめ国内外のオーケストラのオーディションに数多くの合格者を輩出している。使用楽器は国立音楽大学より貸与されているA.ストラディヴァリウス“Joachim” (1723)。

佐々木 亮 (ささき りょう)

東京藝術大学附属音楽高校を経て東京藝術大学卒業。在学中、安宅賞受賞。藝大オーケストラと共演。現音室内楽コンクール第一位、「朝日現音賞」受賞。東京国際室内楽コンクール(民音)第二位。「ルフ

トハンザ賞」受賞。1992年秋よりニューヨーク、ジュリアード音楽院入学。在米中リンカーンセンターでリサイタルの他ソロ、室内楽奏者として全米各地にて活動。アスペン音楽祭、マルボロ音楽祭に参加。2003年帰国。2004年NHK交響楽団入団。2008年より首席奏者。東京藝術大学、桐朋学園大学、洗足学園大学、東京音楽大学にて後進の指導にも当たっている。2024年よりヴィオラスペースのプログラミングディレクターを担当。第6回東京国際ヴィオラコンクール審査委員長。使用楽器はP. マッジーニ (制作年不詳)。

大野かおる (おののかおる)

5歳よりヴァイオリンを始め15歳でヴィオラに転向する。東京藝術大学大学院修士課程修了。在学中より活発な演奏活動を開始。学内のモーニングコンサートではダヴィッド：ヴィオラ協奏曲を日本初演。第1回ターティス国際ヴィオラコンクール(イギリス)では2つの特別賞を、第15回東京国際音楽コンクール「室内楽」では第一位入賞。併せて2つの特別賞を受賞する。ソロと室内楽を中心に国内外のコンサートや音楽祭で活躍。アンサンブル of トウキョウでは創立以来、中心的なメンバーとして活躍。これまでに著名なアーティストとの共演は数え切れず常に高い信頼を得ている。弦楽四重奏の活動にも注力し近年はカルテット・ブラチナムのメンバーとして活躍した。演奏活動の傍ら1999年から25年にわたり東京藝術大学で後進の育成に尽力し。現在は東京音楽大学で後進の指導を行う。使用楽器はG.B. ガダニーニ (制作年不詳)。

河野文昭 (こうの ふみあき)

京都市立芸術大学卒業。1982年に文化庁在外派遣研修員としてロスアンゼルスで、その後ウィーン国立音楽大学にて研鑽を重ねる。黒沼俊夫、G.ライトー、A.ナヴァラの各氏に師事。84年帰国後、独奏者として各地で活躍。J.コッコネンの協奏曲、L.ベリオの無伴奏曲「セクエンツァXIV」などを日本初演した。また室内楽の分野でも、M.アルグリッチとの共演を始め、アンサンブル of トウキョウ、岡山楽奏四重奏団、静岡音楽館(AOI)レジデントカルテットのメンバーとして国内外で精力的な演奏活動を行ってきた。81年第50回日本音楽コンクールチェロ部門第1位、90年京都音楽賞、92年大阪府文化祭賞を受賞。2017年京都市文化功労者。現在、東京藝術大学名誉教授。使用楽器はN.リュポー“Ex Mercadier” (1822)。

2026年6月20日(土) 14:00開演 (13:30開場)

会場：京都府立府民ホール“アルティ”

【入場料(消費税込)】全席自由

*未就学児童の入場はお断りします。 *アルティメイト会員の方は、直接“アルティ”にお申し込みください。

一般=4,000円(当日4,500円) / 学生=2,000円(当日2,500円)

(アルティメイト会員 一般=3,500円 / 学生=1,800円)

【チケット取り扱い】

□ チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード: 318-242] ▶セブン-イレブン内マルチコピー機にて購入可

□ ローソンチケット <https://t-tike.com/> [Lコード: 54415] ▶ローソンまたはミニストップ内「Loppi」にて購入可

□ イープラス <https://eplus.jp/otonowa/> ▶ファミリーマート内マルチコピー機にて購入可

□ 京都府立府民ホール“アルティ” Tel: 075-441-1414 ▶窓口販売のみ(9:00-18:00、第1-3月曜休館、祝日の場合は翌日休館)

□ otonowa(オトノワ) Tel: 075-252-8255 ▶電話予約のみ(郵便振替口座: 00960-8-322727 加入者名: オトノワ)

□ コンサートモーザルト Fax: 050-1359-4384

E-mail: conmoz69kammer@gmail.com

コンサートモーザルト
お申込み用QRコード▶



*やむを得ない事情により、曲目・出演者等内容に変更が生じる場合があります。
その際、曲目・出演者変更等の為の払い戻しは致しかねますので予めご了承下さい。



京都府立府民ホール“アルティ”

<https://www.alti.org/>

京都市上京区烏丸通一条下ル種町西 590-1

【アクセス】

- ・地下鉄丸太線「今出川」駅下車。
- ・5番出口より右へ(南) 御へ徒歩5分
- ・お車の場合は御所の駐車場をご利用ください